



飲酒運転根絶

「ハンドルキーパー運動」の実施

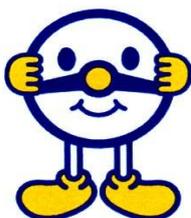
一般社団法人)全日本交通安全協会では、飲酒運転根絶を求める国民の声の高まりを受けて、飲酒運転を防止するための新たな運動として、「ハンドルキーパー運動」を展開しましたことから、宮城県交通安全協会でも、このほど警察や関係機関・団体の協力を得て、飲酒運転追放のための、「ハンドルキーパー運動」に取り組むこととしました。

「ハンドルキーパー運動」とは

自動車で飲食店に行って飲食する場合、仲間同士や飲食店の協力を得て飲まない人を決め、その人が仲間を安全に自宅まで送り、飲酒運転事故を防止する運動です。

ハンドルキーパーとしたのは、酒を飲まない人（ハンドルキーパー）が、大事な自動車のハンドルを握り（キープし）、飲酒運転によって生じうる全ての人の命を守る（キープする）という意味を込めています。ハンドルキーパーとなる方は、ハンドルキーパーワッペンのワッペンを胸元に貼り付けることにより、飲酒しない目印となります。

宮城県内では、平成17年5月多賀城市で発生した飲酒運転の暴走車による多数の高校生が死傷する事件や、平成18年4月には飲酒運転の営業用貨物車が信号待ちの車に追突炎上させ、そのまま逃走するという、極めて悪質なひき逃げ死亡事件が発生するなど、飲酒運転による交通事故が後を絶たないことから、平成18年11月には、県内の飲酒運転根絶運動を盛り上げ、定着させるために飲酒運転根絶イメージソング「みんなの誓い」を製作し普及に取り組んでおります。



ハンドル
キーパー
ロゴマーク

これはハンドルキーパー運動を進めていくためのロゴ(ワッペン)で、ハンドルキーパーが、車のハンドルを握っている形を図案化したものです。

ハンドルキーパー運動の名前やロゴの取り扱いは、ハンドルキーパー運動を推進するためにポスター、チラシ等公益目的に使用することは自由ですが、この運動の名前やロゴを使用したグッズを販売するなどの営業目的に使用する場合は、事前に全日本交通安全協会(03-3264-2641)へ連絡し、承認を得ていただくこととなります。



ワッペン